広報「みやわか」が、あなたの生活に欠かせない「話題」と「情報」をお届けします

宮若生活

Public Relation Magazine Miyawaka City

11
2026
NO.250

子どもが力強く泣くことで
健康長寿を願う
若宮八幡宮放生会恒例行事の子ども上げ。
（当日の様子は裏表紙）

赤一色

ヒガンバナまつり 2026

10月４日、犬鳴川河川公園でヒガンバナまつり２０２６が開催されました。

会場では、満開のヒガンバナが咲き誇る河川敷の散策や、イベントステージ、出店、フォトブースでの写真撮影など、さまざまな催しを楽しむ来場者の姿が見られました。

日が暮れると、会場の雰囲気は一変。赤やオレンジの温かな光が夜空とヒガンバナを照らすランタンナイトが始まり、「すごくきれいだね」「ラプンツェルみたい！」と、幻想的な光景に多くの人が見入っていました。

昼間の華やかなにぎわいから、夜の幻想的な風景へ。時間とともに表情を変えるヒガンバナとランタンの光が織りなす、特別なひとときを満喫した一日となりました。

特集

芸術の旅

作り手たちの呼吸や手仕事の温もりを感じる「芸術」。忙しい日常を少しだけ離れ、五感を研ぎ澄ませてものづくりの本質に触れる旅へ。あなたの心をそっと解きほぐします。

てまり作家

熊野 史恵

Fumie Kumano

宮若市で生まれ育ち、ご主人の定年退職を機に四十年ぶりにUターンされた熊野さん。人生の長きにわたり情熱を注ぎ続けてきた「てまり作り」への思いや、これまでの歩みについてお話を伺いました。

四十年ぶりに帰ってきた故郷で、大好きな「てまり」とともに生きる

十八歳の時に生まれ育った宮若を離れ、そこから約四十年。主人の転勤で山口、神戸、いわき、東京、香港と、あちこちを転々としてきました。

そして去年、空き家になっていた実家へ帰ってきました。四十年ぶりの宮若で、色んなところが変わっていてびっくりしています。この四十年でいろいろなことがありましたが、私の人生の真ん中にずっとあったのは、『てまり』でした。

一枚のチラシから始まった てまりとの長いお付き合い

てまりとの出会いは、小学生のときでした。たまたま見たチラシに載っていたてまりに、子どもながらに「これはすごい！」って強烈な衝撃を受けたんです。そしてすぐ母にお願いして通信教育の教材を買ってもらい、お米のもみ殻を丸めて糸を巻いて作ったのが一番最初でした。

その後は、年を重ね大人になり、仕事や子育てで忙しくなって、しばらくてまりから離れていました。香港に住んでいた頃も、友達とご飯を食べるたびに「日本に帰ったら絶対てまりを作るんだ」ってずっと言い続けてましたね。

熊野さんが小学生の時初めて作った『てまり』。

子育ても落ち着いた四十歳の時、東京に戻ることになりました。近くにてまり教室があったので、「またてまりを作りたい」とすぐ通い始め、基礎知識、伝統てまりから創作てまりまで作る技術を身に付けました。気づけば二十年。師範の資格も取り、自分の教室を持って生徒さんたちに教えたり、展示会へ出品したりするようになりました。

てまりの魅力と 解き明かす楽しさ

てまりの魅力ってたくさんあるんですけど、私はやっぱり色合いと、際限のない柄の面白さですね。何年やっていても「これで完璧」というところに行き着かない。その継続性というか、終わりがないところが魅力なんです。

てまりって、丸い土台のまりに『地割り』という線を入れて、十六等分にしたり五角形を作ったりして、いろんな模様をかがっていくんです。途中で一箇所でも糸を掛け間違えると、何時間も前のところまで解いてやり直さなきゃいけないときもあります。自分の部屋で「うわーっ、また間違えた」ってよく叫んでいますよ。

そんな私が好きなのは、作っているときの無心になれる時間、写真一枚から作り方を解析する事などです。他の先生から「てまり自体はなくなっちゃったんだけど、この写真から作り方わかる?」って渡されたときに、糸がどう交差してどう戻ってくるのか、パズルみたいに頭をフル回転させて解き明かしていく。その謎解きをしている時間が、たまらなく楽しいんですよ。

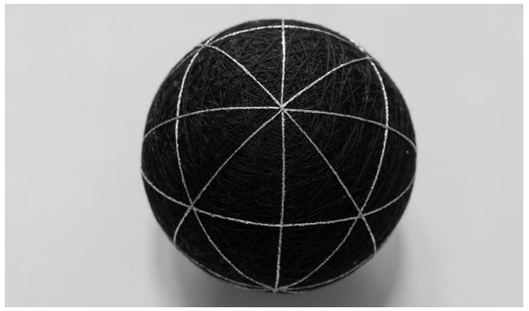
故郷での新たな出会いと これからの夢

宮若に戻ってきてからは、月に一回スーツケースを持って東京の教室へ教えに行っています。でも、せっかく故郷に戻ってきたので、このあたりでもてまりを作っている人とお会いしたいなと思っているんです。市内でてまりを作っていらっしゃる先生がいると聞いているので、同じてまり好きとしていつかお話しできたら嬉しいですね。

今、私の作ったてまりたちは、自宅の屋根裏部屋にたくさん眠っています。やっぱりてまりも、自分の中に閉じ込めておくだけじゃなくてもっと色んな人に見てもらえる場所があったらいいなと思っています。

四十年ぶりに戻ってきた大好きな故郷で、これからもてまりと一緒に、楽しく頭と手を動かしながら歩んでいきたいですね。

まずはてまりの土台作り。発泡スチロールの球の周りに、毛糸などを均等にぐるぐると巻きつけていきます。



次に地割りをする。球を４等分や８等分するように目印をつけ、地割り糸をピンと張るようにしてかけます。

最後に模様をかがる。地割りをした交点や線に沿って、刺しゅう糸やてまり糸を針に通して縫い進めます。

地割りやかがり方の組み合わせでさまざまな模様ができます。

工房SHIMS

木工作家、テキスタイル・フェルト作家

木の温もりを呼び覚ます家具作家の久勝さんと、羊毛の自由な造形で命を吹き込むテキスタイル・フェルト作家のまゆみさん。宮若の地で工房を構え、互いの感性を重ね合わせながら二人三脚で歩むご夫婦の手仕事には、素材への深い敬意と暮らしへの優しいまなざしが込められています。「使い手の宝物になるものを」そんな願いとともに、手仕事がつなぐ温もりあふれる日々の物語をご紹介します。

清水まゆみさん　清水久勝さん

久勝さんが刻む木の息吹と温もり

子どもの頃からプラモデルを作ったり、実家の酒屋にあった樽材（たるざい）をバラして椅子や箱を作ったりと、とにかく自分の手で何かを作ることが大好きでした。別の仕事を経験した後、やっぱりものづくりがしたいと、新聞で見つけた九州民芸村の家具工房に入り、約十年間道具の使い方や基礎を徹底的に叩き込みました。

家具作りの上で私が何より大切にしているのは、木の命そのものです。木は切られて家具になっても、ずっと呼吸をし続けています。「百年生きた木は、百年家具として生きることができる」。だからこそ、人の都合ばかりを優先するのではなく、素材としての木の存在感を尊重しながら、使い手が心地よく使えるデザインを追求しています。

私の作品の特徴は、木の繋ぎ部分に打ち込むクサビをあえて隠さず見せる技法です。『SHIMS（シムス）』という工房名も、クサビ（SHIM）がいっぱいあるというところに由来しています。

何十年も前に納めた家具を、お客様が大切に使い続けてくださる姿を見る時が一番嬉しいですね。「傷だらけになったけれど、我が家の宝物だからメンテナンスして塗り直してほしい」といった依頼をいただくと、単なる道具ではなく、その家庭の歴史や物語の一部になれたのだと、胸が熱くなります。

実際に使う人の手になじみ、使いやすいものにこだわって作っています。

まゆみさんが手掛ける自由な造形

京都の大学でテキスタイルを学んでいた頃、『プレインカの染織展』という古代織物を見る機会がありました。朽ち果てそうになりながらも圧倒的なエネルギーときらめきを放つ布を見て、「布にはこんな力があるんだ」と深く感動したのが私の原点です。大学卒業後は九州民芸村の工房で手織りの修業を積み、友人と工房を立ち上げるなど、手織り作家としての歩みを始めました。

転機となったのは、結婚して数年が経った頃です。手織りの仕事に行き詰まりを感じ、「このままではいけない、新しいものを学びたい」と一念発起し、ニューヨークにあるスキッドモア大学のサマープログラムへ参加しました。そこで出会ったのが『フェルト』です。

経糸（たていと）と緯糸（よこいと）という四角い制約がある織物に対し、フェルトはふわふわの羊毛を自分の手の中で立体的に、好きに形を変えられる。その圧倒的な自由さと面白さに一瞬で魅了されました。

現在は日常使いの服飾雑貨から、美術館などで展示するアート作品まで幅広く手掛けています。また、子どもたちにものづくりの楽しさを伝えるワークショップも大切にしている活動の一つです。作っているうちに考えていたものが形になり、自分の中にある感情があふれ出てくる。手仕事を通して、そんな喜びや豊かな表現力を次の世代へ繋いでいきたいと思っています。

コースターやティーマットなどのフェルトのシートから縫い目のないバッグや帽子まで、全て羊毛と石鹸水を使って作っていきます。

久勝さんが制作した靴べら。手になじむ滑らかな木肌と美しい曲線が特徴で木のぬくもりを感じます。

まゆみさんが制作したフェルトのマフラー。羊毛ならではの手触りには、身につけるたびに心がふっと和らぎます。

自然の恵みとともに二人で紡ぐ暮らしと手仕事

昭和六十二年に旧若宮町の古民家を、自分たちの手でリノベーションして独立し、平成十六年に現在の福丸の地に工房を移築しました。緑に囲まれた静かな環境の中で、お互いの作品のサイズ感や色のバランス、使い勝手について意見を交わし合い、男性視点・女性視点の両方を取り入れながら、日々の暮らしにそっと寄り添う作品作りを二人三脚で続けています。

年齢を重ねるにつれて扱える素材の重さや作業ペースは変化していきますが、ものづくりへの探求心や試行錯誤の楽しさは尽きることがありません。手仕事で作られた一点ものだからこそ、手に取った人が「見ていて幸せだな」「美しいな」と感じ、日々の暮らしの中で豊かな気持ちになれるような作品を、これからも夫婦二人でずっと作り続けていきたいと思っています。

ギャラリー『イチイチナナ』 塩川政春

Masaharu Shiokawa

作り手と使い手をつなぎ、手仕事の魅力を伝える塩川さん。長年、食器の流通に携わってきた経験を生かし、ギャラリー『イチイチナナ』をオープンしました。作家一人ひとりの思いや作品の背景を丁寧に伝え、訪れる人が自分の感性で「いいな」と思えるものに出会える場所を目指しています。手仕事のぬくもりを大切に、地域の作家と人々を結ぶ、塩川さんの思いを紹介します。

作り手と使い手を紡ぐ場所を目指して

私は、定年を迎えるまで、大手陶磁器卸商社に勤めていました。作り手である陶芸家と、作品の発表の場となる百貨店。その両方の流通を知っていたことがきっかけとなり、人と人、作り手と使い手を「紡いでいきたい」という思いで会社を立ち上げました。

しかし、展覧会やイベントの企画において、自信を持って選んだ五つの提案を出しても、売場スペースや予算、開催時期といった条件面が折り合わず、採用に至らないケースがあります。どんなに素晴らしい魅力や技術を持った作家さんであっても、百貨店というフォーマットや制限がある以上、すべての思いに応えることはできないという現実があります。

また、多くのお客さんが訪れる百貨店では、作家さんの熱い思いや作品が生まれた背景を、ゆっくりとお伝えする時間も十分にはありませんでした。

「いつか自分がオーナーとなる場所を持てたら、そんなもどかしさを解消できるのに」そう思い続けていた時、ご縁があって脇田にあるこの物件に出会い、昨年11月にギャラリー『イチイチナナ』をオープンしました。

藍染めの表情豊かなバッグや小物が並ぶ、温もりあふれるギャラリー店内。この場所は週替わりでさまざまな作家の作品が展示されます。

『イチイチナナ』に込めた、手作りの良さと日本の感性

ここで一番こだわっているのは、お客さんに時間をかけてゆっくりと過ごしていただくことです。器の魅力や、作家さんのものづくりに対する思いを、落ち着いた空間で、じっくりと味わっていただきたいのです。

今の若い世代や私の娘たちを見ていると、小売店や百円ショップなどで手に入る、安価でシンプルな量産品の食器で済ませてしまうことも少なくありません。「これで十分」と思うのかもしれませんが、私はどこか味気なさを感じてしまいます。

以前、会社の先輩から「子どもにはメラミン食器ではなく、陶器を使わせなさい。陶器は割れるものだからこそ、ものを大切にする心が育つ」と教わったことがあります。日本には古くから、ものを大切にし、代々受け継いでいくという美しい文化や感性があります。このまま便利で安価なものばかりが選ばれるようになれば、手仕事の良さや伝統工芸そのものが失われてしまうのではないか。そんな危機感を抱いています。

だからこそ、本物の良さに触れ、自分自身の感性で「これがいい」と選ぶ喜びを体験できる場所でありたいのです。

ギャラリーの名前『イチイチナナ』には、手作りのものに出会ったときの「手作りっていいな（117）」という直感を大切にしたい、という思いを込めています。

建物に眠っていた古いタンスや家具を利活用。時代を重ねた木の風合いが、作品の美しさを一段と引き立てます。

色鮮やかなお花をガラス瓶に閉じ込めた、プリザーブドフラワーのボトルアレンジメントなど、ここでしか買えない商品も展示されています。

宮若の地から、人と文化の温かい循環を

この場所を始めた当初は、地域の活性化まで深く考えていたわけではありませんでした。ふと周りを見渡すと、この宮若の地にも素晴らしい活動をされている作家さんたちがたくさんいらっしゃることに気づきました。「こんな素敵な作家さんが近くにいたんだ」と驚くこともあります。

でも、地元で自分の作品を発表するのは、作家さんにとっても実はハードルが高く、勇気がいることです。だからこそ、私たちが窓口となり、宮若の素晴らしい作り手たちの作品を積極的に紹介していきたいんです。地元の人たちも地域の作家さんたちに誇りを持てる。地域の作家さんの励みにもなる。そんな好循環がこの場所から生まれればと思っています。

そして、いつか周りの空き家にも新しいお店や人が入ってくれたら、ここは誰もが時間をゆっくりと過ごせる、温かい場所になっていくはずです。

手仕事のぬくもりや、ものづくりの背景にあるストーリーを大切にしたい。これからも、この宮若のギャラリー『イチイチナナ』が、作り手と使い手を結び、人々の暮らしにささやかな豊かさを添えられる場所であり続けてほしいと願っています。

落ち着いた照明の下、素朴な土の質感を感じさせる急須や湯呑みが並ぶ展示コーナー。作り手のこだわりや質感がじんわりと伝わってきます。

『イチイチナナ』には、作り手さんの思いや、ものづくりの背景にあるストーリーが詰まった作品が多く展示されています。

「手作りっていいな」と感じる直感を大切に、自分にとって「これだ」と思える特別なひとつを見つけてみませんか。

●ところ　脇田４８７

公式 Instagram

広報担当がどこにでも取材に行きます！

どこかにあなたの知っている人がいるかもしれない

まちの話題やイベントを紹介するこのページの名は…

Miyawaka Watching

みんなからみんなへありがとう

▶ トヨタ自動車九州生産累計1,000万台達成記念式典

9月28日、トヨタ自動車九州株式会社宮田工場で生産台数の累計1,000万台突破を祝う記念式典が開かれました。

平成4年の生産開始、第1号車として『マークⅡ』の生産からスタート。その後も『ハリアー』や『ウィンダム』などの人気車種を扱いながら、約34年をかけてこの大台に到達。現在は、高級車ブランド「レクサス」の世界的生産拠点へと成長し、全体の約4割を手がけ80カ国以上へ出荷しています。

長木社長は、「これからもレクサスの生産拠点として品質を中心に、大切に造ってお客さまに届けたい」と、話していました。

沖縄の音色を響かせて

▶ リコリスエントランスコンサート

9月28日、生涯学習センター『宮若リコリス』でリコリスエントランスコンサートを行いました。

今回は、三線シンガーの沙織さんとギター担当のそーはくさんのユニットによる沖縄民謡コンサート。三線とギターの音色に歌声が重なり、会場には沖縄ならではの心地よい音楽が響き渡りました。

曲の合間には、歌に合わせて「イーヤーサーサー」と、掛け声を入れたり、来場者が手のひらを広げて会場が一体となって楽しむ場面も。自然と笑顔が広がるような沖縄の音楽に親しみながら、心躍るひとときを過ごしました。

モルックで深まる笠松の絆

▶ 笠松地域スポーツ交流会

10月5日、笠松研修センター「なびきホール」で第3回笠松地域スポーツ交流会が行われました。

3回目の開催となるこのイベントは、笠松地域の地域間交流や多世代交流を目的に行われているもの。競技種目はニュースポーツのモルックで、笠松地域住民やスポーツ推進委員、市職員など約100人が参加しました。

最初は当たらなかったピンも回数を重ねるごとに当たるようになり、「次はあれを狙おう」「頑張れ！当たれ！」と、互いに声を掛け合いながら競技に臨み、笑顔のあふれる交流会となりました。

安部（あべ） 彩芭（いろは） ちゃん
R6年11月9日生
（本城）
2歳のお誕生日おめでとう♡これからも笑顔いっぱいの彩芭でいてね！大好きだよ！！

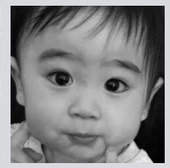
荒川（あらかわ） 星咲（せいら） ちゃん
R5年11月4日生
（龍徳）
3歳おめでとう♥
優しくてお世話好きな星咲♥
だいすきだよ♥♥♥

工藤（くどう） 依茉（えま） ちゃん
R5年11月1日生
（龍徳）
パパとママをいつも笑わせてくれる依茉ちゃん☆
いつもありがとう！

瀬戸（せと） 椛暖（かのん） ちゃん
R6年11月10日生
（福丸）
笑顔いっぱいのかのんちゃん、お誕生日おめでとう♡いつまでも元気で大きくなってね♡

濵田（はまだ） 結心（ゆの） ちゃん
R5年11月17日生
（福丸）
ゆのちゃんお誕生日おめでとう♡ニコニコ笑顔で優しいゆのが家族みんな大好きだよ♡

星野（ほしの） 柊翔（ひなと） ちゃん
R7年11月27日生
（鶴田）
ひなちゃん1歳おめでとう♥いつも幸せをありがとう！！男三兄弟たくましくなぁれ！！



和佐（わさ） 來悠玖（こはく） ちゃん
R6年11月11日生
（磯光）
2歳の誕生日おめでとう♡わがままでお調子者だけど大好き★2人の妹を可愛がってね♡

我が家の愛どる。 満3歳までの宮若っ子を募集します。12月生まれの希望者は、11月11日㈫までにお申し込みください。 宮若市 我が家の愛どる 検索 Click!

地道な努力が実を結ぶ

▶ 秀義館に所属する吉弘翼さんが九州大会へ

9月6日、第5回福岡県少年少女秋季空手道大会が飯塚市で行われました。

市を拠点に活動する秀義館に所属する小学5年生の吉弘翼さんが見事な成績を収め、11月7日、8日に福岡市で開催される九州大会への出場権を獲得しました。

空手は兄がきっかけで始めたという吉弘さん。日頃の道場練習に加え、自宅での自主練習や兄からのアドバイスを力に変えて掴み取った快挙に、吉弘さんは「九州大会で優勝し、全国大会へ進みたい」と、力強く意気込みを語ってくれました。

手作りの遊園地で笑顔いっぱい

▶ 親子ふれあい遊園地「シゲミーランド」

9月20日、下有木の木野茂実さん宅で親子ふれあい遊園地『シゲミーランド』が開催されました。

シゲミーランドは、子どもたちに遊園地の楽しさを身近に感じてもらおうと始まったもの。一部、閉園した遊園地から譲り受けた遊具を除き、全て木野さんが自作、メンテナンスも行っています。

遊具は約40種類で、メリーゴーラウンドやゴーカートのほか、UFOキャッチャー、エアホッケーなどゲームコーナーも。子どもたちは笑顔いっぱいで、「次はあれ乗りたい」と言いながら楽しんでいました。

真剣にボールに触れて

▶ 小・中学生「バレーボール教室」

9月26日、宮若西中学校体育館で小・中学生を対象にした、プロバレーボールチーム『カノアラウレアーズ福岡』の選手によるバレーボール教室が行われました。

スポーツに対する意欲向上を通じて、生徒同士の親睦を深めることを目的に行われた本教室には17人が参加。最初は緊張した様子の子どもたちもいざ教室が始まると、真剣なまなざしでプロ選手のアドバイスに耳を傾けていました。

練習を重ねる中でトスやレシーブが上達していくと、「こうすればまっすぐ返せるんだ」と、プロの技術を肌で感じていました。

Reader's style

ご連絡お待ちしています

コミュニティ活動を広めたいという人でこのコーナーへ記事を掲載したい人は、秘書広報係（☎32・0512）までご連絡ください。

市内にはさまざまなコミュニティがあり、独自の活動をしています。そんな皆さんの活動やイベントをご紹介するコーナーがリーダーズスタイル（あなたの生活）です。

子どもたちをより笑顔に

西日本シティ銀行からお菓子の贈呈

今回贈呈されたお菓子は、各団体のこども食堂で配られました。

10月5日、市役所で、「お菓子いっぱいプロジェクト」の贈呈式が行われました。

このプロジェクトは、西日本シティ銀行の役員や行員が、家庭などで使いきれない食品を持ち寄り、こども食堂などを運営する団体へ届ける取り組みです。

寄付にあたり西日本シティ銀行宮田支店小田支店長は、「子どもたちの笑顔や元気につながってほしい」と、話しました。

宮若の魅力が詰まった1週間

ふるさとWish

テレビ放送だけでなく、ラジオ放送も行われました。

10月5日から11日にわたって、『ふるさとWish』宮若市特集が放送されました。

期間中は「街－1グランプリ」「ぎゅっと玉入れ」「Wish＋」などが放送。観光地や特産品など、普段はなかなか知られていない宮若の魅力もたっぷり紹介され、笑顔があふれる一週間となりました。

YouTubeなどでも配信されています。見逃した方ももう一度見たい方は、ぜひチェックしてみてください。

両手いっぱい、黄金色の稲

宮田南小学校、小伏育成会・若宮ペガサス稲刈り

10月14日に宮田南小学校五年生が、17日に小伏育成会と若宮ペガサスの子どもたちが稲刈りを行いました。

講師は、宮若うまい米コンクールダイヤモンド褒賞受賞者で市認定農業者の平尾孝市さん（宮田南小）と安河内豊孝さん（小伏育成会・若宮ペガサス）。毎年田植えから稲刈りまでの指導を通して、未来を担う子どもたちに、米作りの魅力を伝えてくれています。

刈り取り方を聞いた後、一人ひとり鎌を持って稲刈りを始めました。初めて使う鎌に最初は苦戦していましたが、何度も刈り取るうちにどんどん上達していく子どもたち。「この田んぼでご飯何杯分になるんだろう」「すごく速く刈り取れる様になったんだよ」などと話しながら、一時間ほどできれいに刈り取りました。

刈り取ったお米は、宮若うまい米コンクールに出品されます。

▼「見て見て！」と、稲の束を手に満面の笑みがこぼれます。

◀刈り取り後、コンバインで脱穀した後の藁（わら）を田んぼ全体にまいて終了。

子どもたちの笑顔あふれる一日

第15回リコリス子どもまつり

ステージイベントでは、じゃんけん大会など子どもたちが楽しめる企画が盛りだくさんでした。

10月11日、宮若リコリス周辺でリコリス子どもまつりが行われました。

当日は天気にも恵まれ、約二千九百人が来場。会場内では、ステージイベントやワークショップの他、職業体験ブース、子ども学芸員体験などが行われ、子どもたちは笑顔で楽しんでいました。

会場内では、「動画つくってみたい」「消防士の格好できるらしいよ」「抽選会で何か当たるといいな」など、子どもたちの元気な声が飛び交っていました。

Health Info.

薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」

10月1日から11月30日の２カ月間は福岡県麻薬・覚醒剤乱・大麻用防止月間です。

麻薬、覚醒剤、大麻や危険ドラッグなどの乱用は、心身をむしばむだけでなく、犯罪の誘因にもなり、周りの人の生活にも悪影響を及ぼします。また、薬物には依存性があり、自分の意思ではやめづらくなります。

たとえ一回だけでも乱用です。誘われても「ダメ。ゼッタイ。」と断る勇気を持ち、薬物乱用を絶対に許さない社会環境をつくりましょう。

● **問い合わせ**　県薬務課麻薬係☎093・643・3287

【椅子に座って手軽に体操】チェア体操講座

椅子に座ってストレッチや筋力トレーニング、リズム体操を行います。身体機能の維持向上のほか、リラックス効果やストレス解消が期待できます。お気軽にお申し込みください。

● **とき**　11月26日㈬、午前10時から11時30分まで
● **ところ**　若宮コミュニティセンター「ハートフル」多目的ホール
● **対象**　市内在住で20歳以上の人
● **定員**　20人程度（要予約、先着順）
● **持ち物**　運動できる服装、動きやすい靴、飲み物、フェイスタオル
● **申込み・問い合わせ**　支所市民窓口係☎52・1111

第13回 筑豊アディクションフォーラム

アディクション（依存症）とは、害があるのは分かっているのにやめたくてもやめられないという、コントロール障害のことです。性格や意志の問題でなく、回復する病だと言われています。

アディクション問題への理解促進、自助グループ活動の周知などを目的として、フォーラムを開催します。当日は申込不要で参加できます。

● **とき**　11月22日㈰、午前10時から午後４時10分まで
● **ところ**　イイヅカコミュニティセンター
● **演題**　『新たな夢を見つけよう』つながろう ひろげよう ふかめよう
● **参加料**　500円
● **講師**　宇佐美 貴士さん（うえむらメンタルサポート診療所）
● **問い合わせ**　筑豊アディクションネットワーク実行委員会☎090・1979・6273（山方）

12月１日は「世界エイズデー」です

エイズとは、HIV（ヒト免疫不全ウイルス）感染によって免疫力が低下することで発症するさまざまな病気の総称です。保健所では、定期的に無料で匿名の検査や、12月１日の世界エイズデーにちなみ、臨時検査を行っています。

近年、HIV感染に気づかないままエイズ症状が出てしまう「いきなりエイズ」の人が増えています。感染の可能性がある場合は検査を受け、もし感染していたら必ず医療機関を受診しましょう。電話で予約ができます。県のホームページから「世界エイズデー」と検索するとネット予約もできます。

● **問い合わせ対応可能時間**　午前８時30分から午後５時15分まで（平日のみ・祝祭日除く）
● **予約・問い合わせ**　嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所☎0948・23・5911

今年度の総合健診は残り３カ月です

健診は予約制になります。予約期間中に電話または健康対策係窓口でお申し込みください。簡単にできるLINE電子申請からの予約がおすすめです。

健診の申し込みは先着順です。定員になり次第受付を終了しますので、お早めにお申し込みください。

● **受付時間**　午前８時30分から10時30分まで
※ 混雑を避けるため時間を区切ってご案内します。
● **予約方法**　申込用紙、窓口、電話、市公式LINE
● **予約・問い合わせ**　健康対策係☎32・1177

年間日程表

実施日	申込締切
12月10日㈭、11日㈮	11月６日㈮
令和９年１月17日㈰、18日㈪	12月11日㈮
２月５日㈮、６日㈯	１月８日㈮

※ 会場は12月、１月は保健センターパレット、２月はマリーホール宮田です。
※ 12月はがん検診のみ受け付けています。

健診項目一覧

No.	健診項目	対象者（令和８年３月末時点の年齢）	費用
1	基本健診	18歳から39歳までの人 40歳以上で生活保護を受給している人	500円
2	特定健診	40歳から74歳までの宮若市国民健康保険加入者	無料
3	後期高齢者健康診査	75歳以上の県後期高齢者医療被保険者	500円
4	肝炎ウイルス検査	40歳以上（過去に受診したことがない人）	700円
5	胃がん検診	18歳以上	500円
6	大腸がん検診		300円
7	肺がん検診		100円
8	胃がん検診＋ 胃がんリスク検査	40歳・45歳（１人１回限り） ※ 条件により受診できない場合があります。	1,500円
9	前立腺がん検診	50歳以上の男性	300円
10	子宮がん検診	18歳以上の女性	400円
11	骨粗しょう症検診	40歳以上の女性 ※ 12月11日㈮、令和９年１月17日㈰、２月６日㈯のみ実施します。	500円
12	乳がん検診 （マンモグラフィ）	40歳以上の女性	400円

※ 対象者の年齢は、特定健診、後期高齢者健康診査を除いて、令和９年３月31日時点の年齢です。
※ No.１は、生活保護受給者は無料です。
※ No.４からNo.12は、70歳以上、生活保護受給者、非課税世帯の人は無料です。

いきいきスポーツクラブに参加してみよう！

「いきいきスポーツクラブ」は、スポーツを楽しみながら、健康で明るく、充実した生活を送ることを目的に活動をしています。

子ども体操教室 / 金曜バドミントン教室 / 親子バドミントン教室 / スポーツ吹矢教室 / ウォーキング教室
若さを保つ運動教室 / はじめてのピラティス / ゆったり整えるヨガ / 健康ヨガ教室
コアパワーヨガリラックスクラス / コアパワーヨガ美ボディークラス / 健康体操

→PICK UP SPORTS

親子バドミントン教室

- **とき**　毎週土曜日、午前10時から11時30分まで
- **ところ**　市民体育館（中央公民館若宮分館横）
- **参加費**　▶会員＝1,000円／月　▶非会員＝1,500円／月

※会員は別途年会費が1,000円（親）500円（子）かかります。

- **指導者**　野見山弘次さん（宮若いきいきスポーツクラブ理事）
- **持ち物**　ラケット（貸出あり）、タオル、飲み物、動きやすい服装、室内シューズ

教室の内容

▶親子で楽しみながら体を動かすことができる
▶柔軟体操、ジョギングなどの運動も取り入れている

運動の効果

▶走り、跳び、全身で体を動かすので、姿勢改善につながる
▶体幹や柔軟性の向上につながる
▶運動神経の向上が期待ができる

参加者の声

- **問い合わせ対応可能時間**
  ▷月曜日、火曜日＝午後0時30分から9時まで　▷水曜日＝午前9時から午後9時まで　▷木曜日、金曜日、土曜日＝午前9時から午後5時まで　▷日曜日＝午前9時から正午まで

※電話のほか、公式LINEからでもお問い合わせが可能です。

- **問い合わせ**　いきいきスポーツクラブ事務局☎080・8430・5560（レッスン中は電話に出られない場合あり）

いきいきスポーツクラブ公式LINE

光陵グリーンスタジアム・西鞍の丘芝生フィールド　主な大会予定（天候の影響などにより中止になる場合があります）

光陵グリーンスタジアム（☎33・1515）	11月1日㊐	筑豊地区中学校新人体育大会　中学軟式
	11月3日㊋	一年生大会　フレッシュリーグ　中学硬式
	11月7日㊏、8日㊐	第13回宮若市長旗親善高校野球大会　高校硬式
	11月14日㊏、15日㊐	第13回福岡中央地区1年生大会　高校硬式
	11月21日㊏、22日㊐	福智山旗親善野球大会　中学軟式
	11月23日㊊	三年生大会　フレッシュリーグ　中学硬式
西鞍の丘芝生フィールド（☎54・0207）	11月14日㊏、15日㊐	少年サッカー県大会（U－12）
	11月21日㊏、22日㊐	BUDDY JUNIOR CUP U－9
	11月27日㊍、28日㊏、29日㊐	福岡県スポーツ少年団サッカー大会

Lifelong Study Scope
生涯学習スコープ

01 貝島炭礦閉山50年特別企画展
貝島炭礦のくらしと風景

本企画展では、貝島炭礦に関する写真や貴重な資料を通して、炭鉱とともにあった地域の風景や人々の暮らしを振り返り、その歴史的価値と記憶を未来へとつないでいきます。

期間中は、アルコ22号の運転席乗車体験も行うことができます。皆さんのお越しをお待ちしております。

- **展示期間**　11月25日㊋から令和9年3月28日まで
- **ところ**　市石炭記念館
- **展示数**　約100点
- **展示内容**　炭鉱施設、地域の風景・景観、暮らしなど
- **問い合わせ**　市石炭記念館☎32・0404

02 高校球児の熱戦を応援に来ませんか
第13回宮若市長旗親善高校野球大会

宮若市長旗をかけた高校球児の熱戦を、応援に来ませんか。

- **とき**　11月7日㊏、8日㊐午前9時30分から（開会式8時45分）
- **ところ**　光陵グリーンスタジアム
- **出場校**　鞍手竜徳高校（若松高校・真颯館高校合同）、鞍手高校、大和青藍高校、直方高校
- **組み合わせ**　▶7日㊏＝第1試合（午前9時30分）：鞍手竜徳高校×大和青藍高校、第2試合（正午）：直方高校×鞍手高校
  ▶8日㊐＝第1試合（午前9時30分）：3位決定戦（7日の敗者）、第2試合（正午）：決勝戦（7日の勝者）
- **問い合わせ**　公民館・スポーツ振興係☎32・0123

03 自分時間を楽しもう
ほっとひといき講座

心身のリフレッシュを目的とした講座です。育児などで日々忙しくされているみなさん、「自分時間」を楽しみながら、心身を見つめ直しませんか。

- **とき**　11月18日㊋、26日㊋、12月9日㊋、午前10時から正午まで

※1回のみの参加も可能です。

- **ところ**　若宮コミュニティセンター「ハートフル」
- **内容**　セルフ頭皮マッサージの方法やしめ縄制作など
- **講師**　▶野村つかささん（ヘッドセラピスト）
  ▶久保峰子さん（IPS協会認定講師）
- **対象**　市内在住で子育て・孫育て中の人
- **定員**　▶11月18日㊋、26日㊋＝5人程度
  ▶12月9日㊋＝10人程度

※託児も受け付けます。希望者は申込時にお伝えください。

- **参加費**　無料。ただし、12月9日㊋は1,800円（材料費）が必要。
- **申込締切**　11月10日㊊
- **申込み・問い合わせ**　社会教育・文化推進係☎32・3210

04 名店シェフから学ぶ「クリスマスごはん」
みやわか食材を楽しむ料理教室

名店シェフに直接宮若の食材やその魅力を学びながら、家庭でも取り入れやすい料理を作ります。

シェフの技やお話を間近で体験できるぜいたくな機会です。お気軽にご参加ください。

- **とき**　1日目＝12月1日㊊、午前10時から午後0時30分まで
- **ところ**　若宮コミュニティセンター「ハートフル」調理室
- **講師**　金丸建博さん（Auberge Soukatei 颯香亭）
- **対象**　市内在住で食育に興味がある人
- **定員**　10人（先着順）

※託児も受け付けます。希望者は申込時にお伝えください。

- **参加費**　2,000円（材料費）
- **申込締切**　11月18日㊋
- **申込み・問い合わせ**　社会教育・文化推進係☎32・3210

注目の新刊情報

毎月発売される新刊の中から図書司書セレクトの本をお届けします。新刊チェックの参考にどうぞ。

『衰えません、死ぬまでは。』
著者 ▶ 宮田珠己
出版 ▶ 幻冬舎
配架場所 ▶ リコリス本館・一般開架

旅行好きで一年中旅をしてきた著者が、還暦を機に真面目に老化と向き合おうと一念発起しました。まずは人生の運気アップのため、筋力トレーニングから始めてみたものの、単調さに飽きて速攻で挫折。コレステロール値も気にはなるが、朝食の「バターしみしみトースト」の誘惑には勝てない。怠け者ですぐに諦めてしまう著者が、自転車や野菜作りなど次から次へと挑戦します。老化に反抗し続ける著者のリアルで愛おしい日常をつづったエッセイです。完璧じゃ無くてもいい、そんな元気がもらえる一冊です。

『いきものたちのいるところ はしもとみお彫刻集』
著者 ▶ はしもとみお
出版 ▶ 辰巳出版

ここにいるのはかつてこの世界を生きた、そして今を生きている動物たちです。動物の姿形を木彫りで表現しています。

『なにコレ日本奇景』
写真・絵 ▶ えぬびい
出版 ▶ 河出書房新社

ふと景色の中に現れる不思議な風景。全国の奇景を写真で紹介します。あなたの身近にも気づいていない「なにコレ？」があるかもしれません。

『鉱物怪談』
著者 ▶ 田辺青蛙・吉田悠軌・若本衣織
出版 ▶ 竹書房

長い年月の中で石は人の思いを宿すのか。鉱石や天然石、野山や川にある何気ない石にまつわる不思議な話を31話集めた1冊です。

『ほらみてごらん』
作・絵 ▶ いもとようこ
出版 ▶ 女子パウロ会

くまの子とじいちゃんの温かい会話から地球で生まれる命の尊さを描いた絵本です。美しい絵とともに命はつながり、祝福され生きていることを伝えます。

『黒田官兵衛 秀吉を天下一にした男』
著者 ▶ 国松俊英
出版 ▶ 文研出版

豊臣秀吉を天下人へと導いた黒田官兵衛。知略を武器に戦国の世を駆け抜けた官兵衛はどんな人物だったのか分かる本です。

『その本、発禁処分トスル』
作者 ▶ 村上しいこ
絵 ▶ かわいちひろ
出版 ▶ さ・え・ら書房

文学好きの３人が文芸誌「放射スル」を発刊するも発禁処分に。納得できない３人は昔の文芸部のを調べ、発禁処分の謎に迫る。

第149回 私の1冊

本好きなあなたがおすすめの１冊を紹介するコーナーです。

▶ おすすめする人　荒田（あらた） 桧依（ひより）さん（8歳）、華那（はな）さん（5歳）

「トイレの花子さんに会うところが一番好きだよ」と、『おばけとしょかん』を紹介してくれたのは桧依さん。華那さんのおすすめは『もいもいどこどこ』。本のページに空いた穴が目になるのが面白くて好きなんだって。

桧依さんは、もしお化けに出会った時にちゃんと対処できるよう、妖怪やお化けの本をよく読んでいるそう。妹の華那さんはかわいいものやプリンセスに夢中。二人はよくお人形遊びをしていて、一歳になる妹とも仲良く遊んでいるそう。三姉妹元気に育ってね♪

11月の図書館イベント

● 問い合わせ　リコリス本館☎32・0710
ハートフル分館☎52・1041

秋の読書週間事業

「としょかんdeボードゲーム」

図書館でボードゲームを行う「としょかんdeボードゲーム」を開催します。

初めての人でも大歓迎。みんなでワイワイ、楽しい時間を過ごしませんか。お気軽にご参加ください。

- とき　11月8日㊏、午後1時30分から3時30分まで
- ところ　生涯学習センター「宮若リコリス」研修室1・2
- 対象　どなたでも（未就学児の場合は保護者同伴）
- 定員　12人（先着順、要申込）
- 申込方法　電話、図書館カウンター（定員になり次第終了）

雑誌付録抽選会

今年も「雑誌付録抽選会」の季節がやってきました。

図書館にある雑誌の付録をセットにしたステキなプレゼントが当たります。宮若市立図書館利用者カードをお持ちの人なら、どなたでも応募ができます。

- 応募期間　11月26日㊌から12月25日㊎まで
- ところ　生涯学習センター「宮若リコリス」、若宮コミュニティセンター「ハートフル」
- 応募方法　図書館内に設置している投票箱に投かん
- 当選発表・受取期間　令和９年1月14日㊌から2月28日㊏まで

※ 当選された人は受取期間内に、応募した図書館でお受け取りください。受取期間を過ぎると無効になります。

「第12回 本でつながる君と僕。～中学生POP～」

展示&投票

図書館で募集した中学生が作成したPOPを展示します。展示しているPOPの中から、投票で「POP大賞」や「図書館長賞」、「図書館賞」を選考し、受賞された生徒には景品を贈呈します。

皆さんの投票は生徒の未来につながる一票です。たくさんの投票をお待ちしています。

- 展示期間　11月30日㊐まで
- ところ　生涯学習センター「宮若リコリス」、若宮コミュニティセンター「ハートフル」
- 投票方法　図書館内に設置している投票用紙を投票箱に投かん

※ 投票結果は、広報みやわか「宮若生活」令和９年１月号に掲載予定です。

Information

- おはなし会

11月7日㊏	リコリス本館　午前11時から ボランティア「山口読書会」が担当
11月12日㊌	リコリス本館　午前10時30分から 乳幼児おはなし会“おひざでだっこ”（要予約）
11月21日㊏	リコリス本館　午前11時から 図書司書が担当
11月28日㊏	リコリス本館　午前11時から ボランティア「ふぉ～G」が担当

- 朝のおんがく図書館　11月11日㊋、19日㊌、28日㊏　午前９時50分から10時10分まで
- 休館日　11月2日㊐、9日㊐、11日㊋、16日㊐、24日㊊、30日㊐

みやわか M for More. Info

宮若市職員採用試験

一緒に働く仲間を募集しています 宮若市職員採用試験【土木技術・建築技術】

● 問い合わせ　人事係☎32・0511

市民の幸せやまちの発展のために、与えられた職務だけでなく、常に問題意識や改善意識、向上心を持ち続けて働く仲間を募集します。

今回募集する職種の試験は、第一次試験と第二次試験を同日に行います。

試験の申し込みは、電子申請のみで受け付けます。職員採用試験要項を必ずご確認の上、期限内にお申し込みください。

※電子申請による申込みができない特段の事情がある人は、11月13日㊎までに人事係へご連絡ください。

募集の概要

●**試験区分・採用予定人数**
▼土木技術＝二人程度
▼建築技術＝一人程度

●**受験資格**　試験区分によって必要な資格などが異なります。詳細は、市公式ホームページ、試験要項などでご確認ください。

●**申込締切**　11月24日㈪、午後5時15分

●**試験要項の配布**　市公式ホームページから入手できます。

電子申請方法

●**申込方法**　①市公式LINEアカウントを友だち追加（下二次元コード）
②トーク画面下部のリッチメニューにある「電子申請」をタップ
③「職員採用試験」をタップし、申請画面へ進み、必要事項を入力。本人写真をアップロードしてください。

※申込みの遅延はいかなる理由でも認めませんので、時間に余裕をもって申込みを行ってください。

●**試験日**　12月6日㈰、午前10時（予定）

●**試験会場**　宮若市役所三階 防災研修室

●**試験方法**　▼第一次試験＝専門試験（高校卒程度）、事務適性確認
▼第二次試験＝個人面接

●**受験票の交付**　11月26日㈬頃に、申込みのあったLINEアカウントへ送付します。

●**合格発表**　12月16日㈫（予定）

みやわか M for More. Info

環境クリーン作戦

【11月15日㈰は市内一斉清掃美化運動の日】 環境クリーン作戦を行います

● 問い合わせ　環境対策係☎32・0516

不法投棄防止の啓発、監視活動を行っていますが、空き缶などのポイ捨ては後を絶ちません。このような行為は法律により罰せられます。

地域環境美化の意識向上のため、「自分たちの地域は、自分たちの手で美しくしよう！」をテーマに、市内一斉清掃美化運動・環境クリーン作戦を行います。ご協力をお願いします。

●**とき**　11月15日㈰、午前9時から

●**ところ**　▼一斉清掃美化運動＝市内各所
▼環境クリーン作戦＝本城地区、原田地区

協力し合って、自分の住む地域をきれいにしませんか。

不法投棄は絶対にしないでください

みだりにごみを捨てることは不法投棄です。不法投棄をした場合、法律により五年以下の拘禁刑または一千万円以下の罰金が科せられますので、絶対にしないでください。

また、不法投棄をしている現場を目撃したときは、目撃場所や車両の種類、色、ナンバーなどの情報を市役所または警察署までご連絡ください。ご協力をお願いします。

不法投棄を目撃した場合は、迷わず通報をお願いします。

野外焼却は違法です

野外焼却は、法律により原則禁止され、違反した場合は、罰金などが科せられます。

たき火などの軽微な焼却でも、近隣の生活環境に支障がある場合は、中止してもらうことがあります。

地域の人々が安心して快適に生活できるように、皆さん一人ひとりの心がけとご協力をお願いします。

みやわか M for More. Info

保育所・保育園児募集

令和9年度 私立保育園・認定こども園（保育所籍）の入所児童を募集します

● 問い合わせ　保育係☎32・0517

市内在住で、来年度に保育園、認定こども園へ入所を希望する人の申し込みを受け付けます。

●**入所要件**　▽保護者が月四十八時間以上仕事のため、昼間に家庭で保育ができないこと ▽母親が出産前後であること ▽保護者に病気や心身の障がいがあること（治癒するまでの期間） ▽同居の家族で長期にわたり病人を看護していること、など

●**配布・受付場所**　保育係、支所市民窓口係、各保育施設（在園児のみ）

※現在、市内保育施設に入園している人へは、各保育施設で配布します。

※市内保育施設の在園児は、通っている保育施設でも申し込めます。

●**申込締切**　12月18日㈮

※市外保育施設への入所を希望する場合は、申込期限が異なります。事前に入所を希望する市町村にご確認ください。

●**入所の決定**　審査や入所調整を行い、令和9年2月上旬頃に入所可否を通知します。

※申込締切後も受け付けますが、期限内受付分の審査終了後の審査となるため、申込多数の場合入所できないことも予想されます。必ず期限内にお申し込みください。

※保育士の配置基準の関係で〇歳から二歳クラスのお子さんは、入所が難しくなることが予想されます。企業主導型保育施設などへの入所もご検討ください。

私立保育園・認定こども園

施設名・定員
宮田保育園 100人
福丸保育園 120人
なないろ保育園 100人
なないろ保育園2 75人
宮若さくらこども園 185人（保育所籍）
ひよこ保育園 6人（地域枠）
市外の保育所（園） 若干名

みやわか M for More. Info

学童保育所入所申込

【申込時期が11月に変わります】 令和9年度 学童保育所の入所申込を受け付けます

● 問い合わせ　保育係☎32・0517

学童保育所は、保護者が仕事などで昼間に家庭にいない児童向けの場所です。放課後に学童施設で学びや生活の場を提供し、健全な育成を行います。

●**入所時期**　4月1日から

●**対象**　小学校に在学し、放課後から午後5時頃まで、帰宅しても保護者がいない児童

●**申込締切**　12月18日㈮

●**申込先**　保育係、支所市民窓口係、宮若市社会福祉協議会、入所希望の学童保育所

※各申込先で申込書も配布しています。

入所の決定方法

申込みが定員を上回った場合は、保育の必要性や学年（低学年を優先）などを審査し選考します。

対象学童・定員・連絡先

各連絡先へは、学童保育所の開所時間である平日午後1時30分から6時30分まで、土曜日・学校長期休暇期間は午前8時から午後6時までの間にご連絡ください。

学童名	定員	連絡先
宮田南学童保育所（宮田南小学校内）	70人（40人クラス、30人クラス）	☎090・4581・3563 ☎080・9105・0466
宮田北学童保育所	80人（40人クラス×2）	☎090・4581・7177 ☎080・9143・1506
光陵学童保育所（光陵小学校横）	100人（40人クラス×2、20人クラス×1）	☎090・7451・3485 ☎070・1946・0193 ☎090・7451・5004
宮若西学童保育所	120人（40人クラス×3）	☎090・7451・8700 ☎080・9101・3973 ☎090・7451・5639

※ 例年1月に行っていた本申し込みは、保育所に入所する兄弟児などがいる家庭の負担を軽減するため、保育所入所申込と同時期に行います。

みやわか M for More. Info

高齢者福祉推進協議会委員募集

宮若市高齢者福祉推進協議会の委員を募集します

● 申込み・問い合わせ
高齢者福祉係☎32・0515

市では、高齢化が進む中、課題の解決と高齢者福祉のさらなる充実を図るために、高齢者福祉計画を策定して取り組みを進めてきました。

その高齢者福祉計画の新たな策定や、地域包括支援センターの運営に関することなどに対して、協議への参加や、意見を出す委員を募集します。

福祉関係に理解と意欲がある人の応募をお待ちしています。

委員の詳細

●**任期** 任命日から令和10年11月30日まで

●**募集人数** 一人（応募多数の場合は選考）

●**報酬** 会議一回につき六千五百円
※所得税の源泉徴収分は差し引きます。

●**応募要件** 次のすべての要件を満たす人
▼令和8年12月1日現在で満十八歳以上の人
▼福祉関係に理解と意欲がある人
▼平日の昼間に開催する年三回程度の会議に参加できる人
▼国や地方公共団体の職員や議員でない人
▼令和8年12月1日現在で、市の他の審議会などの委員に委嘱されていない人
▼暴力団員などと密接な関係を有していない人

●**応募方法** 申込書に必要事項を記入して、持参か郵送で提出してください。申込書は、高齢者福祉係窓口で配布しているほか、市公式ホームページからもダウンロードできます。

●**募集締切** 12月4日㈮（郵送の場合は12月4日㈮消印有効）

受付・郵送先
【宮若市役所健康福祉課 高齢者福祉係】
（本庁1階 9番窓口）
●住所 〒823・0011 宮若市宮田29番地1
※提出前は書類に不備がないか、いま一度ご確認ください。

みやわか M for More. Info

市営住宅入居者募集

市営住宅空き家入居者を募集します

● 申込み・問い合わせ 住宅管理係☎32・0955

住まいにお困りの人を対象に、市営住宅の入居者募集を行います。希望する人は、期間内に申し込んでください。

市営住宅入居者募集は3カ月に1回程度行っています。

募集団地など

●**募集団地**
▼矢萩団地＝二戸
▼鍋田団地＝一戸
▼陽の浦団地＝二戸（単身可）
▼乙野団地＝一戸（単身可）
※募集団地や戸数は、災害発生などで変更になることがあります。

●**申込書配布** 住宅管理係、支所市民窓口係
※申込書の配布、受け付けは入居申し込み期間中に限ります。

●**申込資格**
①から⑤の条件をすべて満たす人
① 市内に住んでいるか、勤務場所がある人
② 現在、住宅に困っている人
③ 申込者と同居親族の総所得が月額十五万八千円以下の人（乙野団地、鍋田団地、矢萩団地への申込者が高齢者などの場合は、総所得が月額二十五万九千円以下の人）
④ 申込者や同居親族が暴力団員でない人
⑤ 過去に市営住宅に入居していた人は、無断での退去や家賃滞納などをしたことがない人に限ります
※単身での入居を希望する人は、床面積が狭い住宅となります。

●**申込締切** 11月13日㈮

●**抽選会** 12月下旬（予定）

多回数落選者優遇措置

直近の抽選会で二回以上連続して落選した人は、次回の抽選会で二回連続でくじを引くことができる優遇措置を受けられる場合があります。

ただし、住宅のあっせんを受けたにも関わらず、入居を辞退した人は対象外となります。

みやわか M for More. Info

児童虐待防止推進月間

【189（いちはやく）気づいたあなたに できること】 オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン

● 問い合わせ 子育て支援係☎32・0517

児童虐待とは、親や養育者などが子どもの心身を傷つけ、健やかな成長、発達を損なう行為のことをいいます。

児童虐待に対する相談対応件数は依然として増加しています。子どもの命が奪われるなど重大な事件が後を絶たない状況のなかで、児童虐待問題は社会全体で解決すべき重要な課題です。虐待の発生防止、早期発見・早期対応から虐待を受けた子どもの自立に至るまで切れ目のない支援が必要です。

令和8年度の標語は、「189（いちはやく）気づいたあなたに できること」

児童虐待を防ぐには

虐待を受けたと思われる子どもを見つけたときや、ご自身が出産や子育てに悩んだときには、「あなた」からの児童相談所や市への連絡が、子どもを守るための大きな一歩になります。

●**児童相談所全国共通 三桁ダイヤル** ☎189（いちはやく）
※お住まいの地域の児童相談所につながります。一部のIP電話からはつながりません。通話料は無料です。

宮若市要保護児童対策地域協議会とは

市では、子どもを虐待から守るために、子どもに関係するさまざまな機関からなるネットワークを作り、連携、協力を図っています。

心配事がある時は、お早めにご相談ください。

●**市こども家庭センター** ☎32・0570（午前8時30分から午後5時15分まで。土曜、日曜、祝日、年末年始を除く）

こども家庭センターは市役所本庁舎内に設置しています。

みやわか M for More. Info

県下一斉徴収強化月間

「STOP滞納！！県下一斉徴収強化月間」として取り組みを強化します

● 問い合わせ 納税管理係☎32・1008

県と市では、県内市町村と連携し、11月を「県下一斉徴収強化月間」と定めています。県下一斉に徴収対策を強化し、納税推進に向けた啓発など、さまざまな取り組みを行います。

この取り組みは、滞納をしている人に対する差し押さえなどの滞納処分を進めるとともに、住民一人ひとりに納税や徴収への理解を促し、新たな滞納をなくすことで、個人住民税などの地方税の徴収率向上を目的に行っています。

これに合わせ、市でも11月から徴収対策の取り組みを一層強化します。

滞納者には、差し押さえや車のタイヤロックを行うことがあります。

取組内容

取組期間中は、滞納者に対する一斉催告、差し押さえや車のタイヤロック、捜索といった滞納処分の強化などを重点に、さまざまな徴収対策を実施します。

ファイナンシャルプランニング相談

家計の支出が多く、税金を払いたいけど払えない人などを対象に、専門家であるファイナンシャルプランナーが無料で相談を受け付けます。（事前予約が必要。一人一時間以内）

●**とき** 11月18日㈫、午後1時から6時まで（次回は令和9年1月18日㈪を予定）

●**ところ** 本庁一階 相談室一

納税には口座振替が便利です

税金の納付には、口座振替が利用できます。一度登録すると、納期ごとに金融機関やコンビニへ出向く手間が省け、うっかり忘れもなくなります。

また、市税の納付には、PayPayなども利用できます。

その他
others information

11月25日から12月1日は犯罪被害者週間です

県警では、犯罪被害にあわれた人の心のケアを行う専用の相談窓口、犯罪被害相談「心のリリーフ・ライン」を開設しています。相談は匿名でも可能です。

- **相談受付時間**　平日、午前9時から午後5時45分まで
- **相談電話**　心のリリーフ・ライン☎092・632・7830
- **問い合わせ**　県警察本部 被害者支援・相談課☎092・641・4141

11月30日は「年金の日」です

「ねんきんネット」を利用すると、年金記録の確認や将来の年金受給見込額について、年金記録を基にさまざまなパターンを試算できます。

日本年金機構のホームページから利用できますので、ぜひご利用ください。

- **問い合わせ**　直方年金事務所お客様相談室☎22・0891

【12月4日から一週間は人権週間】

人権講演会を開催します

12月4日㈭から10日㈬までは人権週間です。それに先立ち、多様性社会についての人権講演会を開催します。この機会にぜひご参加ください。

- **とき**　11月26日㈬、午後2時
- **ところ**　宮田文化センター
- **演題**　『アンちゃんと語ろう、多様性社会』
- **講師**　アン・クレシーニさん
- **問い合わせ**　人権福祉係☎32・0765

豊かな生物多様性を守る活動に参加してみませんか

県では、生物多様性の保全活動に取り組む団体と、活動に関心のある事業者の連携を支援しています。

福岡生きものステーション公式ホームページで、日頃の活動などを掲載したい人を募集中です。

- **問い合わせ**　県環境部自然環境課☎092・643・3367

親子ふれあいタイムに参加してみませんか

アイリッシュ系音楽ユニット「森和田」のすてきな音楽とお話で心温まる時間を一緒に過ごしませんか。市公式LINEから予約が可能です。

- **とき**　11月20日㈭、午前10時から11時まで（午前9時30分から受付）
- **ところ**　子育て支援センター「さくらんぼ」
- **対象**　未就学（0歳から5歳まで）のお子さんと市内在住の保護者
- **定員**　15組（事前予約が必要）
- **問い合わせ**　子育て支援センター「さくらんぼ」☎32・1319

ひとり親家庭のための就業支援講習会を行います

最新のExcel365の操作方法を学び、MOS資格の合格を目指すための講座を行います。

- **とき**　令和9年1月13日㈫から2月10日㈫までの指定された9日間
- **ところ**　飯塚総合庁舎（飯塚市）
- **対象**　ひとり親家庭の父母や、かつて母子家庭だった寡婦で、この資格を生かして就職・転職を希望する人
- **申込締切**　12月22日㈪
- **申込み・問い合わせ**　マンパワーグループ☎092・741・9531

家族のつどいに参加してみませんか

直方・鞍手地域精神障害者家族の会「なおみの会」では、一人で悩まない・一人で抱え込まないを合言葉に、活動しています。

奇数月の第2水曜日に家族のつどいを行っています。ぜひ参加してみませんか。

- **問い合わせ**　なおみの会会長☎090・5388・2423

若宮恵比須座

- **とき**　12月3日㈬、午後4時から10時まで
- **ところ**　日吉神社境内（福丸）

※ 前売り券の購入は、若宮商工会へお問い合わせください。

- **問い合わせ**　若宮商工会☎52・0640

建設業退職金共済に加入しませんか

建設業退職金共済は、建設業界で働く人のために国が作った退職金制度です。掛金は税法上、法人では損金、個人企業では必要経費となります。

労働日数に応じて掛金となる共済証紙を共済手帳に適正に貼り、建設業界を引退する時は、忘れずに退職金を請求してください。

- **問い合わせ**　建設業退職金共済事業本部☎03・6731・2867

令和9年度公立幼稚園児募集のおわびと訂正

令和8年10月号18ページに掲載した「令和9年度公立幼稚園児募集」の対象に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

- **訂正箇所**　▷満三歳児＝令和6年4月2日生から令和7年4月1日生
- **問い合わせ**　教育総務係☎32・3210

【福岡県の最低賃金は時給1,114円】

最低賃金が改定されました

10月4日から福岡県最低賃金が、時給1,114円に改定されます。最低賃金は雇う上でも、働く上でも最低限のルールです。必ず確認をお願いします。また、最低賃金引き上げに向けた業務改善助成金などの支援施策があります。

- **問い合わせ**　福岡労働局労働基準部賃金室☎092・411・4578

西山山麓収穫祭

地域の自然の恵みに感謝し、交流を深めることを目的に、西山山麓収穫祭が行われます。

当日は、こだまこども合唱団による合唱会や中地区の歴史講座、地元で取れた野菜を使った豚汁の振る舞いなどもあります。お気軽にご参加ください。

- **とき**　11月14日㈮、午後2時から5時まで
- **ところ**　市文化財収蔵・展示・交流センター「宮若トレッジ」
- **問い合わせ**　西山有志の会☎080・5286・1421（一丸）

なつかしの風景写真展

市出身の吉原伸吾さん所蔵の昔なつかしの風景写真を展示します。100年前の若宮八幡宮放生会や山笠（やまかさ）の写真も展示されます。

- **とき**　11月3日㈷から29日㈯まで
- **ところ**　若宮コミュニティセンター「ハートフル」
- **問い合わせ**　支所市民窓口係☎52・1111

部活動の地域展開を進めています

少子化が進む中でも、子どもたちがスポーツや文化芸術活動に親しむことができる環境を将来にわたって確保するため、市では令和8年度から令和13年度までを「改革実行期間」として、部活動の地域展開（市認定地域クラブ活動）を進めています。

- **移行スケジュール**
  - ▶令和8年度から令和10年度＝休日部活動を地域クラブ活動へ
  - ▶令和11年度から令和13年度＝平日部活動の地域展開に着手

※ 地域の実情や種目ごとの状況を踏まえ、段階的に進めます。

- **問い合わせ**　学校教育係☎32・1007、公民館・スポーツ推進係☎32・0123、社会教育・文化推進係☎32・3210

地域の農地を守るために農地パトロールを行います

- **問い合わせ**　農業委員会事務局☎32・3553

農　業委員会では、年一回、各地域の農業委員による農地パトロールを行っています。

農地パトロールの目的は遊休農地の実態把握や発生防止、解消対策や農地の違反転用の発生防止などです。11月から12月にかけて、農業委員・推進委員が、市内全域の農地を確認します。

【農地の転用には許可が必要です】

農地の転用とは、農地を住宅や工場などの建物敷地、資材置き場、駐車場、太陽光発電システムの設置など、農地以外の用途に変えることです。

農地を転用するには、農業委員会に申請を行い、県知事の許可を受ける必要があります。また、許可を受けて転用工事が完了した後、完了報告を提出し、現況証明を農業委員会で受けてください。以上の手続きの完了後、法務局で地目変更登記を行ってください。

今月の休日当番医

1日㈰：午前9時～午後5時
- ▶小児科＝あざがみこどもクリニック
- ▶内科＝阿座上内科循環器科クリニック
- ▶内科＝藤井医院
- ▶眼科＝菅井眼科麻酔科医院

3日㈫：午前9時～午後5時
- ▶小児科＝宮田病院
- ▶内科＝高橋医院
- ▶内科・外科＝梅谷外科胃腸科医院
- ▶眼科＝はやし眼科

8日㈰：午前9時～午後6時
- ▶小児科＝直鞍急患センター
  午前9時～午後5時
- ▶内科＝永松内科胃腸科医院
- ▶内科・外科＝原医院
- ▶耳鼻科＝江浦医院

15日㈰：午前9時～午後5時
- ▶小児科＝大野小児科内科
- ▶内科＝青見胃腸・内視鏡内科クリニック
- ▶内科＝山近内科医院
- ▶外科＝高嶋整形外科
- ▶耳鼻科＝千々和耳鼻科医院
- ▶眼科＝西村眼科クリニック

22日㈰：午前9時～午後6時
- ▶小児科＝直鞍急患センター
  午前9時～午後5時
- ▶内科＝すずき内科クリニック
- ▶内科＝有吉病院

23日㈪：午前9時～午後5時
- ▶小児科＝くらて病院
- ▶内科＝みずほ内科・レディースクリニック
- ▶内科＝しもかわクリニック

29日㈰：午前9時～午後5時
- ▶小児科＝くきた小児科内科クリニック
- ▶内科＝川波医院
- ▶内科＝祷若宮医院
- ▶眼科＝阿部眼科医院

※ 電話にて診療時間の確認をお願いします。
※ 当日やむを得ず休診となる場合があります。
※ 受診の際は必ずマスク着用をお願いします。

情報確認ダイヤル

防災行政無線放送内容フリーダイヤル
☎0800・200・9945

火災案内ダイヤル
☎0948・43・4024

税金
tax・premium information

今月の納期【11月】

- 国民健康保険税　第５期
- 後期高齢者医療保険料　第５期
- 納期限　11月30日㊐
- 口座振替日　11月25日㊌

納期限内に納付しない場合は督促状を発送します。また、納期限の翌日から、延滞金が発生します。(最初の１カ月は年利2.8%、以降9.1%)

- 問い合わせ　納税管理係☎32・1008

11月２日納期限分の納税を忘れていませんか

市県民税第３期、国民健康保険税・後期高齢者医療保険料の第４期の納期限は11月２日㊐です。

納付がない時は、差し押さえなどの滞納処分を行うことになりますので、必ず納付してください。納税額を一度に納付することが困難な時はお早めにご相談ください。

- 問い合わせ　納税管理係☎32・1008

個人事業税の納付をお忘れなく

- 個人事業税　第２期
- 納期限　12月１日㊊
- 問い合わせ　飯塚・直方県税事務所事業税係☎0948・21・4903

下水道受益者負担金(分担金)の納付をお忘れなく

下水道供用開始区域の土地の所有者などの皆さんに、建設費の一部を受益者負担金(分担金)として納付していただいています。

- 受益者負担金　第３期
- 納期限　11月30日㊐
- 問い合わせ　下水道課管理係☎32・3159

相談
consult information

行政書士による無料相談会

相続、遺言、各種許認可申請、成年後見などの相談に応じます。

- とき　11月22日㊏、午後１時から４時まで
- ところ　生涯学習センター「宮若リコリス」第３研修室
- 問い合わせ　アソシエイツ宮若事務所☎0120・880・665

くらし・行政相談コーナーを開設しています

総務省九州管区行政評価局では、買い物の際に気軽に相談できるよう、小倉井筒屋内に無料相談窓口を開設しています。開設日によって相談できる内容が異なりますので、お問い合わせください。

また、電話での相談にも応じます。

- とき　毎週金曜日、午前10時から午後４時まで
- ところ　小倉井筒屋新館８階
- 問い合わせ　総務省九州管区行政評価局☎093・531・6710

直方調停協会による無料調停相談会

土地・建物、親族間・夫婦間、遺産相続などの相談に応じます。相談は無料で予約は不要です。お気軽にお越しください。

- とき　11月７日㊋、午前10時から午後３時まで
- ところ　若宮コミュニティセンター「ハートフル」
- 問い合わせ　福岡地方裁判所直方支部☎22・0522

行政相談委員による無料相談会

行政サービスに関する相談や行政の仕組み、手続きに関する相談など、お気軽にご相談ください。

- とき　11月18日㊋、午前10時から午後３時まで
- ところ　生涯学習センター「宮若リコリス」、若宮コミュニティセンター「ハートフル」
- 問い合わせ　総務係☎32・0511

日曜労働相談会

いじめ・嫌がらせ、退職、解雇、パワハラなど職場の悩みに対応した、無料相談を行います。内容に応じて弁護士相談も行います。

- とき　11月15日㊏、午前10時から午後６時まで(受付は午後５時30分まで)
- ところ　筑豊労働者支援事務所(飯塚市)
- 予約・問い合わせ　筑豊労働者支援事務所☎0948・22・1149

終活無料相談会

相続、遺品整理、お仏壇じまいなどの相談に応じます。(事前予約制)

- とき　12月9日㊋、午前9時15分から11時45分まで
- ところ　生涯学習センター「宮若リコリス」研修室２
- 予約・問い合わせ　はせがわ直方店☎24・5151

試験
examination information

自衛官等採用試験

詳細はお問い合わせください。

- 募集種目　一般曹候補生、２等陸・海・空士(任期制自衛官)
- 募集締切　11月20日㊎
- 問い合わせ　自衛隊飯塚地域事務所☎0948・22・4847

募集
invite information

ポリテクセンター職業訓練生募集

ポリテクセンターでは、定期的にさまざまな専門の訓練を実施しています。

- 募集学科(1月生)　機械ＣＡＤオペレーション科、ビル管理技術科、住宅リフォームＣＡＤ技術科、建設機械科、ビジネスワーク科、ＣＡＤ／ＣＡＭ科、デジタル建築設計科
- 申込先　ハローワーク直方
- 問い合わせ　ポリテクセンター福岡☎093・641・6909、ポリテクセンター飯塚☎0948・22・4988

県営住宅入居者募集

- 申込期間　12月３日㊌から11日㊎まで
- 募集団地　県内に所在する県営住宅(詳細は、募集案内書に掲載)
- 案内書配布場所　住宅管理係窓口(11月26日㊌から配布)
- 申込み・問い合わせ　県住宅供給公社直方出張所☎24・4590

県沖縄地域戦没者慰霊巡拝団員を募集します

県では、先の大戦における沖縄地域での戦没者を追悼し、平和を祈念するため、慰霊巡拝団員を募集します。

- 巡拝期間　令和９年１月14日㊌、15日㊎の２日間
- 定員　20人
- 申込締切　12月４日㊎
- 申込み・問い合わせ　県遺族連合会事務局☎092・761・0012

NUMBER INFORMATION 数字で見る宮若市

● 9月30日が基準日

事故・犯罪 飲酒運転撲滅

市内交通事故	件数	1月からの累計
人身事故	5件	67件

窃盗犯罪内容	件数	1月からの累計
車上ねらい	0件	0件
部品ねらい	0件	1件
乗り物盗	0件	0件
自販機ねらい	0件	2件
空き巣など	0件	4件

火災 住宅火災警報器設置しましたか？

火災種類	件数	1月からの累計
建物火災	0件	3件
その他火災	0件	5件
死者	0人	0人

ごみ 第2、第4日曜日は資源回収の日です

種類	重さ
ごみの量	578,940キロ
資源回収量	6,950キロ
１人当たりごみ排出日量	765グラム

※ ごみ減量目標は総合計画に掲げたもので１人が１日に出すごみの量を780グラム以内にしようとするものです。

人の動き

※ 住民基本台帳法の改正により、外国人登録者数を含む人口情報となっています。

人口	21人	減りました	25,235人	
男性	0人	減りました	12,254人	
女性	21人	減りました	12,981人	
世帯数	45世帯	減りました	13,181世帯	
～14歳		10.7%	2,703人	
15歳～64歳		52.6%	13,265人	
65歳～		36.7%	9,267人	
出生	9人	転入	61人	
死亡	28人	転出	63人	

中学校部活動の活動指導員を募集します

● 問い合わせ　リーフラス☎092・242・4307

市の中学校部活動の活動指導員を募集します。あなたの経験を生かして、指導者として一緒に働きませんか。

- 募集部活　▷陸上競技部 ▷軟式野球部 ▷男子ソフトテニス部 ▷女子ソフトテニス部 ▷男子バスケットボール部 ▷女子バスケットボール部 ▷女子バレーボール部 ▷卓球部 ▷柔道部 ▷剣道部 ▷吹奏楽部

- 募集要件　▶経験者または指導歴のある人 ▶子どもたちの教育活動に理解のある人
- 雇用形態　アルバイト
- 給与　時給1,200円から1,600円(通勤手当あり)

※ 時給は条件などにより変動します。

- 勤務日　原則土曜日・日曜日のいずれかと祝日
- 勤務時間・日数　部活動の種目や状況に応じて調整(週２日から３日程度、１日あたり３時間から８時間)
- 勤務場所　市内または大会時などは各会場
- 応募方法　右２次元コードを読み取り、応募してください。応募完了後、担当者から連絡します。

伝統を伝え受け継ぐ

四百年以上の歴史を誇る若宮八幡宮放生会。その賑やかな祭りの音風景を彩る『稚児太鼓』の指導のバトンが今年、長年務めた柴田市長から吉崎さんへと受け継がれました。自身も太鼓を打ち、その後大人になっても山笠を支えてきた吉崎さん。戸惑いから始まった挑戦と、子どもたちへ注ぐ温かい思いに迫ります。

稚児太鼓指導者｜吉崎 英和 Hidekazu Yoshizaki

受け継ぐ人×伝える人

前任者の柴田市長と放生会について語る吉崎さん

「自分に教えられるだろうか」不安から始まった新たな一歩

筑前三大放生会の一つ、若宮八幡宮放生会。そのにぎやかな祭りを支える大切な伝統行事が、子どもたちが元気に太鼓を打ち鳴らす『稚児太鼓（ちごだいこ）』です。長年指導を務めた柴田市長から役割を引き継ぎ、新たに指導者となった吉崎さんに、受け継ぐ葛藤や思いを伺いました。

「私と山笠との関わりは深く、もう三十年近くになります。私自身も五十年ほど前に子どもの頃稚児太鼓を叩きましたし、大人になってからは山笠の舁（か）き手（山笠を担ぐ人）側として長く参加してきました。

また、今から二十年ほど前、自分の子どもが稚児太鼓に参加した際には山笠の役員をしていて、子どもに教えるために一から太鼓を覚えたこともあります。子どもと対面して教えるので反対叩き（逆手）から覚えなきゃいけなくて、それを習得して子どもに教えていたんです。

今回、山笠の役員から『後任として、指導者を引き受けてもらえないだろうか』と、お話をいただいたときは、正直戸惑いました。子どもに教えていたのは二十年も前のことですし、本当に正しく叩いて教えられるだろうかという不安が大きかったからです。最初は『ちょっと無理だな』と、お断りしようかとも考えました。

ですが、『他にやれる人がいない』と聞いて、覚悟を決めて引き受けることにしました。太鼓打ち自体は、音楽を聴けば叩けるかなとは思いましたが、一番心配だったのは久しぶりの子どもたちとの接し方でした」。

子どもたちに寄り添う指導法

「練習は本番までの二週間で計五日間。久々の指導で緊張していましたが、初回の練習には柴田市長が手伝いに来てくださったんです。その時の柴田さんの子どもたちへの話し方や接し方をじっくり見て学びました。

目線をしっかり合わせ、優しい言葉遣いで自分から積極的にコミュニケーションを取っていく。最初は緊張気味だった子どもたちも、そうやって場を和ませることで、だんだん打ち解けてきました。

練習では、太鼓ではなく竹を太鼓に見立てて練習するのですが、竹を打つ音が楽しくて子どもたちは喜んで叩くんです。でも、集中力を持続させるのが大変で、一時間の練習の中でこまめに休憩を挟み、集中力が切れないよう工夫しました。

最初は音楽なしで練習し、徐々に曲に合わせていくのですが、回数を重ねるごとに見違えるように上達していきましたね。一回目より二回目、二回目より三回目と、子どもの飲み込みの早さには本当に驚かされました。

そして、本番では、緊張しながらも楽しそうに、誇らしげに太鼓を叩く子どもたちの姿を見たときは、指導者を引き受けて良かったと感じました」。

楽しかった記憶を未来の山笠へつなぐ

「私が五十年前に叩いた記憶が今も心に残っていて、大人になってまた山笠に戻ってきたように、子どもの頃に感じた『楽しかった』という記憶は、大人になってもずっと残るものです。今回参加した子が大きくなり、また山笠へ戻ってきてくれたらこれ以上の喜びはありません。

四百年以上続いてきたこのお祭りを、次の世代へと絶やさず続けていくためにも、まずは子どもたちが笑顔で楽しめる環境を作ること。地域の大切な繋がりと太鼓の音色を、これからも温かく引き継いでいきたいと思っています」。

伝統を伝え受け継ぐ

前ページで紹介した稚児太鼓。その力強い太鼓の音色に寄り添い、祭りを彩るのが津軽三味線です。奏者の高齢化で存続が危ぶまれる中、後継者として手を挙げたのは井田さん。幼い頃の憧れを胸に、伝統の音色を未来へつなぐ決意と熱い思いに迫ります。

太鼓叩き保存会伴奏者 | 井田 憲子 Noriko Ida

太鼓・笛・津軽三味線の音が重なる瞬間は、世代を超えて受け継がれてきた伝統が、新たな息吹とともに未来へと響き渡ります。

憧れだった舞台へ

若宮の山笠が、幼い頃から大好きでした。山笠の中で太鼓をたたいている人を見て「私もしたい」ってずっと思っていたんです。でも、当時は「女の子だから山笠に上がっちゃいけない」と言われていて、「いいな、男の人は」ってうらやましく思っていました。家で太鼓の練習をまねしたり、山笠を追いかけて迷子になったりしたこともありました。

それがまさか大人になって、津軽三味線の奏者としてあの山笠に上がれる日が来るなんて、当時は思ってもみませんでした。

きっかけは二年ほど前、長年演奏されていた奏者が高齢になり、後継者を探しているという話を父が耳にしたことです。そこで、「ギター弾けるやん。ちょっと練習してみたらどうか」って言われて、もともと色々な楽器を触るのが好きだったこと、そしてコロナ禍で山笠が一度止まってしまったときに、父が復活に向けて奔走（ほんそう）している姿を見ていたことが背中を押しました。「祭りを無くしたくない」「憧れの山笠に上がりたい」という思いも重なり、津軽三味線に挑戦しようと、決意したんです。

私に津軽三味線を教えてくださったのは、奏者の加留部弥重子さんです。津軽三味線はもともと目の見えない人たちが耳で聴いて伝えてきた楽器で、楽譜がありません。加留部さんが書き起こしてくれた譜面を見ながら、構え方やバチの使い方など、基本から徹底して教わりました。

弾けば弾くほど上達が実感できて、「三味線ってこんなに面白いんだ」とすっかり夢中になりましたね。

山笠の上で知った音の奥深さと特別な景色

津軽三味線は木と皮でできている生楽器なので、気候や湿気で音が変わりやすいんです。加留部さんから「山笠に上がると、雲が晴れて太陽が出ただけで音がズレるよ」と言われていて、「まさかそんな」と思っていたんですが、いざ本番で山笠に上がって演奏していると、本当に音が変わっていくんです。子どもたちの太鼓に合わせて弾きながら、途中であたふたしながら音を合わせ直すのは大変でした。

しかも、山笠の上はすごく高くて、はしごを登るのも一苦労。でも、いざ始まってみると緊張よりも楽しいという気持ちが勝っていました。子どもたちの太鼓が響く中、隣の加留部さんとともに子どもたちを引っ張り、笛の音にも気を配りながらペースを作っていくのは責任重大でしたが、本当に充実した時間でした。

無事に演奏を終えて山笠を降りたとき、稚児太鼓を演奏していた男の子から「かっこいい」と言ってもらえた瞬間は、本当に嬉しかったです。

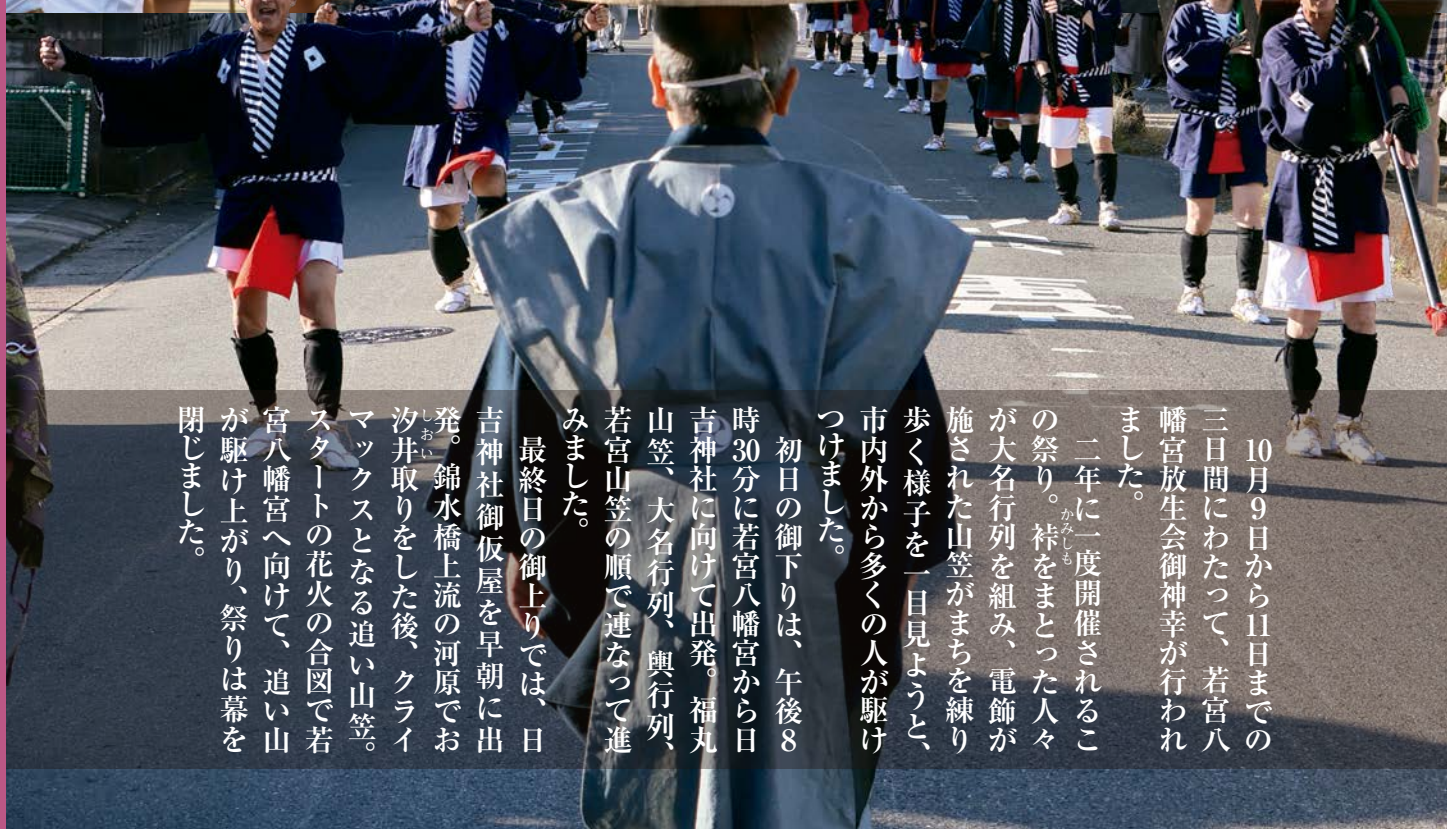
伝統を未来へ繋ぐために

受け継いだこの大切な伝統を途絶えさせないために、一緒に楽しく演奏してくれる人も探しています。友人たちに声かけをしていますが、もっと多くの人と一緒にこの音色を響かせたいと思っています。ただ、せっかく仲間が集まっても、津軽三味線がなかなか手に入らなくて困っています。もし、自宅の押し入れや屋根裏などで眠っている津軽三味線があれば、譲っていただけないかと思っているところです。

四百年以上続いてきた伝統を決して絶やすことなく、次の世代の子どもたちや未来へ繋いでいくために、これからも大好きな楽器とともに、稽古を重ねながら歩んでいきたいと思っています。

2026.11 NO.250
広報「みやわか」

若宮八幡宮 放生会御神幸



10月9日から11日までの三日間にわたって、若宮八幡宮放生会御神幸が行われました。

二年に一度開催されるこの祭り。裃（かみしも）をまとった人々が大名行列を組み、電飾が施された山笠がまちを練り歩く様子を一目見ようと、市内外から多くの人が駆けつけました。

初日の御下りは、午後8時30分に若宮八幡宮から日吉神社に向けて出発。福丸山笠、大名行列、輿行列、若宮山笠の順で連なって進みました。

最終日の御上りでは、日吉神社御仮屋を早朝に出発。錦水橋上流の河原でお汐井（しおい）取りをした後、クライマックスとなる追い山笠。スタートの花火の合図で若宮八幡宮へ向けて、追い山が駆け上がり、祭りは幕を閉じました。

本庁 〒823-0011 宮若市宮田29番地1
支所 〒822-0101 宮若市福丸272番地1
編集 秘書政策課秘書広報係 印刷 (株)ゼンリンプリンテックス
☎0949・32・0510(代表) https://www.city.miyawaka.lg.jp/

UD FONT by MORISAWA